

アトリウム弦楽四重奏団

Atrium String Quartet

アレクセイ・ナウメンコ (ヴァイオリン)

Alexey Naumenko, Violin

アントン・イリュニン (ヴァイオリン)

Anton Ilyunin, Violin

ドミトリー・ピツルコ (ヴィオラ)

Dmitry Pitulko, Viola

アンナ・ゴレロヴァ (チェロ)

Anna Gorelova, Cello

• TV
MAN
UNION

同郷の大作作曲家、
チャイコフスキーの弦楽四重奏曲
全3曲を一夜にして堪能!

アトリウム弦楽四重奏団

チャイコフスキー
没後120年記念

チャイコフスキー弦楽四重奏曲全曲演奏会

2013年12月9日 月 19:00 | 東京文化会館 小ホール

チャイコフスキー: 弦楽四重奏曲 第1番 二長調 作品11 (1871)

チャイコフスキー: 弦楽四重奏曲 第2番 ヘ長調 作品22 (1874)

チャイコフスキー: 弦楽四重奏曲 第3番 変ホ短調 (1876)

若手演奏家のための公開マスタークラス

12月2日 月 会場: 上野学園 エオリアンホール

詳細はテレビマンユニオンのホームページにてご確認ください。

チケット (全席指定)

一般: ¥4,000 / U25: ¥2,000

- ・U25は1988年以降生まれの方限定のチケットです。公演当日、生年を証明できるものをご持参ください。
- ・都合により曲目、曲順などを変更させていただく場合がございます。
- ・未就学児のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド

- イープラス: <http://eplus.jp>
- 東京文化会館チケットサービス:
03-5685-0650 (10-19時/休館日休業)
- チケットぴあ: 0570-02-9999 /
<http://t.pia.jp> (Pコード: 206-055)

主催・問合: テレビマンユニオン

TEL: 03-6418-8617 (10:00-18:00 土日祝休)

www.tvumd.com

協賛: 東レ株式会社

2007年、ボルドー国際コンクールに圧勝して一躍その名を世界に轟かせたアトリウム弦楽四重奏団。キャリアはもうかれこれ13年になるが、メンバーは揃って30歳代前半とまだ若い。足場をがっちり
と固めたいま、いよいよ世界の第一線に躍り出ようという、雄飛の
時期にあるフレッシュなグループだ。

彼らの誇る強靱なアンサンブルは、すでに過去の来日公演で実証
済み。技術はむろん第一級だが、窮屈な完璧主義ではなく、表現へ
の強い意欲が四重奏に漲る。

今回は何と言ってもプログラムが圧巻だ。例の“アンダンテ・カン
タービレ楽章”だけはやけに有名だが、ほかはめったに演奏されな
いチャイコフスキーを、何と3曲まるごと聴けるとは、まさに千載一遇
のチャンス。2年前の日本公演でも、彼らはアレンスキーの第2番を
取り上げ、ロシア的な、ほの暗い叙情性で聴衆を魅了した。チャイ
コフスキーへの期待が膨らむ所以である。[音楽評論家・大木正純]

チャイコフスキー全曲演奏への挑戦 アトリウム弦楽四重奏団

一晩でチャイコフスキーの弦楽四重奏曲を全て演奏
するのは、アトリウム弦楽四重奏団にとって初めての試
みです。この大きなキャリアを日本で初めて披露できるこ
とを幸せに思っています。チャイコフスキーは私たちの
人生の大きな部分を占めています。2000年10月にサン
クト・ペテルブルグで行われた私たちのデビュー公演
のプログラムにも、チャイコフスキーの第3番が含まれて
いました。彼の音楽の中には、深い情熱と作曲家自
身の魂が、まるで自分たちの一部になったかのように感
じる、たくさんの音楽的な宝物が詰まっています。楽譜
を開く度に新しい発見があります。毎回練習をする度
に、私たち4人に新しいチャレンジを与えてくれます。
今回のチャイコフスキー全曲演奏会というとてもユニ
ークな企画は、挑戦的かつ実験的です。私たちにとって
非常に重要なミッションです。ひとつは室内楽に親しん
でいる人たちにロシアの巨匠の曲を一気に楽しんでも
いただける機会として、二つ目に、もし、まだこの作曲家
をあまり知らない人たちにお聞きいただく機会として、非
常に大きな意味をもつ演奏会を提供することができるか
らです。[アトリウム弦楽四重奏団]



プロフィール

アトリウム弦楽四重奏団

アレクセイ・ナウメンコ(ヴァイオリン)
アントン・イリュエニン(ヴァイオリン)
ドミトリー・ピツルコ(ヴィオラ)
アンナ・ゴレロヴァ(チェロ)

2003年、世界的権威であるロンドン国際
弦楽四重奏コンクール第1位、聴衆賞を獲
得。これを契機にまたたく間に国際舞台へ
躍り出る。ショスタコーヴィチの5番でBBC
ラジオ3でのデビュー、さらに、EMIからの
CDデビューも実現。そして、2007年第5
回ボルドー国際弦楽四重奏コンクールで
圧倒的な優勝を飾り、併せてMMSG賞を
受賞する。

2000年、サンクト・ペテルブルグ音楽院
に学ぶ4人により結成。03年卒業後は、
06-07年はアムステルダムにてシュテファン・メッツに師事。さらに、07-09年、ベル
リンのハンス・アイスラー音楽大学に学ぶ。
また、アルバン・ベルク四重奏団、フェル
メール・クワルテット、東京クワルテットのメ
ンバーにも指導を受ける。
ロンドンのウイグモアホールやロイヤル・フェ
スティバル・ホールをはじめ、ワシントン、
ニューヨーク、パリ、ブリュッセル、ロッテル
ダム、ジュネーヴ、バルセロナ、サンクト・ペ
テルブルグと世界の主要都市で演奏。ま
た、ドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン
音楽祭やシュヴェツィンゲン音楽祭、フラン

スのコルマル音楽祭、オランダのオーラ
ンド音楽祭、ハンガリーのハイドン国際音
楽祭、スイスのダヴォス音楽祭などに招待
されている。近年では、09年に初の日本
ツアーを行い、東京公演はNHKにて全国
放送される。ハンブルク、フランクフルト、
ベルリン、ロンドンで再演を重ねている他、
スイスのルツェルン音楽祭にも参加する。
2011/2012シーズンは、毎年恒例のイギリ
ス国内ツアーの他、2011年には2度目の
日本ツアーを行った。ピアノの北村朋幹や
ギターの大萩康司ら日本を代表する若手
奏者との共演が記憶に新しい。
08年、ベートーヴェンとショスタコーヴィチを
収録したCDをリリースし、同年のドイツ・グ

ラムフォン誌のエディターズ・チョイスに選
ばれた。最新版はサンクト・ペテルブルグに
て録音したショスタコーヴィチ。

3度目となる日本公演は、ロシアの2大巨匠
であるショスタコーヴィチとチャイコフスキー
の全曲演奏という驚異的なプログラムで来
日を予定。さらに2013-15年に「ショスタ
コーヴィチ・マラソン」と名付け、ショスタ
コーヴィチ全15曲を1日で演奏するという公演
を、アメリカ、フランス、ドイツ、オランダ、イ
ギリス、ロシアで予定している。
現在、ベルリンに拠点を置く。

テレビマンユニオン

www.tvumd.com

tvu_md

〒150-0001東京都渋谷区神宮前5-53-67

電話：03-6418-8617(10-18時/土日祝休)

人は、人と、響きあう。

時代をこえ、国境をこえて、

幸福のハーモニーをもっと広げたい。

私たち東レは、総合科学技術を基盤として、国際的に
多角的な事業活動を展開する一方、
科学、教育、芸術、文化、スポーツ振興を通じて
世界の国々の人々や社会に貢献しています。

'TORAY'

Innovation by Chemistry

